

2025年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	商学部・教授
	氏名	菅原智
海外客員 教員	所属・職	Assistant Professor, University of Ghent, Belgium
	氏名	Evelien Opdecam
招聘目的		2. 共同研究
招聘期間		2025年 7月 9日 ~ 2025年 8月 19日
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。		2. 共同研究 (1) 共同研究の内容 Opdecam教授との共同研究の内容は主として、国内の他の研究者との学术交流(研究報告)と将来の研究活動の打ち合わせであった。他の研究者との学术交流については以下の場所において最新の会計教育研究について研究報告を実施し、開催していただいた研究者と活発な意見交換を行なった。 7月14日中央大学(潮清孝先生) 7月15日静岡県立大学(上野雄史先生) 7月16日近畿大学(浦崎直浩先生) 7月18日関西学院大学商学部主催・商学セミナー 7月20-22日弘前大学(内藤周子先生) 7月24日広島国際大学(景山愛子先生) 7月25日県立広島大学(加納慶太先生) また、8月1日から8日までは、関西学院大学商学部棟において、菅原との将来の研究に関する打ち合わせを行なった。 (2) 研究の成果 現在、菅原は、AIを活用した会計教育研究を行っているが、これまではデータの収集は国内の大学で会計や経営を学ぶ学生を対象としていたが、今回の打ち合わせによりOpdecam先生が在籍するUniversity of Ghentの学生からもデータを収集し、国際比較研究を実施することになった。質問票調査は11月に実施するという予定を設定し、それまでに質問票を完成させることになった。質問票はシナリオを用いた実験研究を想定しているため、日本とベルギーの学生にとって回答しやすいシナリオを選別したりする過程で、Opdecam先生と活発に意見交換ができた。これらの研究の成果は、未だ成果物として完成していないが、大きな将来の成果につながる良きプロセスであると評価できる。

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます